

1. システムの概要

①システムの名称

松山下コロナワクチン接種予約システム

②システムの内容

本システムは、新型コロナウイルスのワクチン接種に際し、市民が集団接種会場で接種を希望する場合に、全市民の個人情報（接種券番号及び生年月日）をクラウドに集積することにより、市民本人がWEBで接種予約をするためのシステムである。

本システムにおける予約方法は、市民がWEB上の「松山下コロナワクチン接種予約システム」において、接種券番号及び生年月日でログインし、その後自らの個人情報（氏名、電話番号、メールアドレス）を入力後、接種予約をする。なお、松山下コロナワクチン接種会場に関してはWEB予約のみとする予定である。

③表示される個人情報

本システムに市民がログインした場合、WEB上では、以下が表示される。

- ・予約済みの場合のみ氏名（カナ）、連絡先（電話番号・メールアドレス）※一部
ならびに当該予約情報

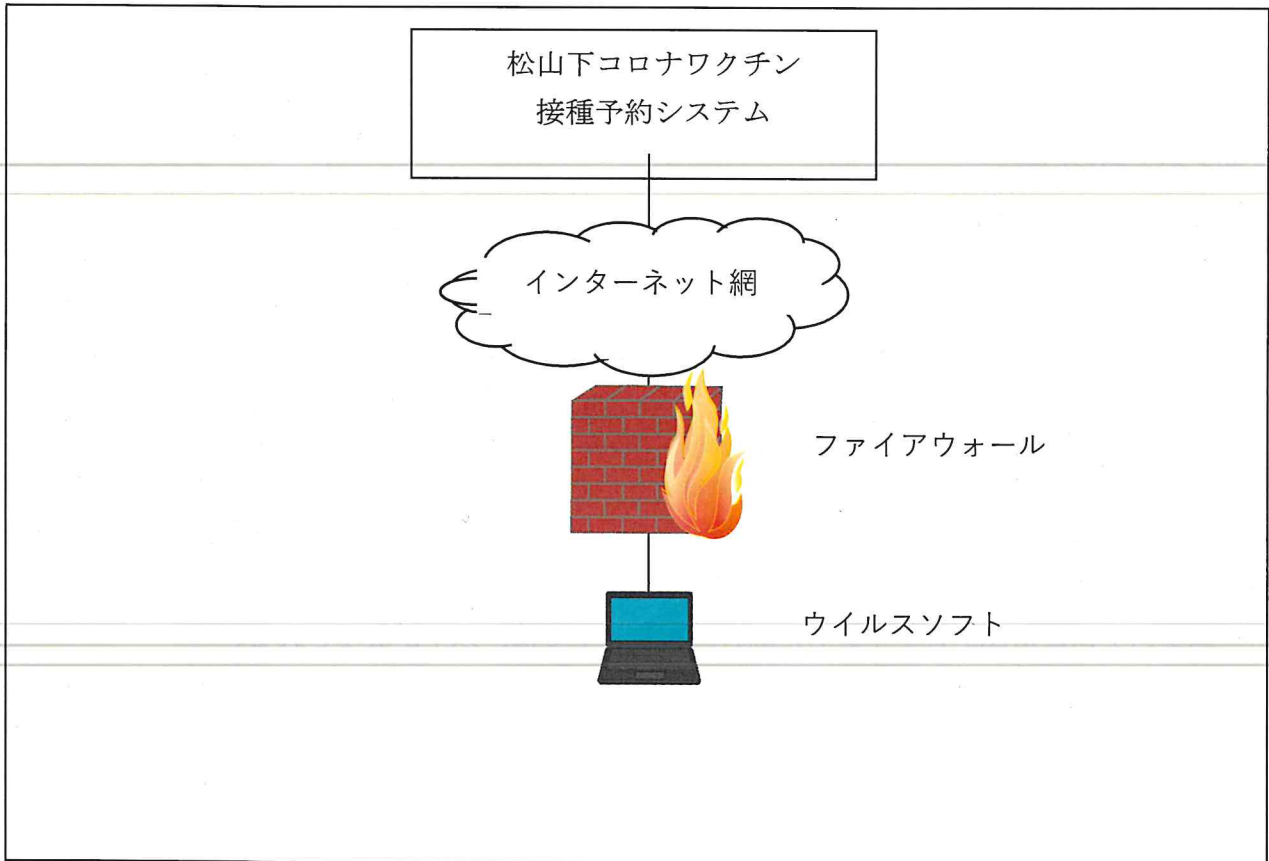
2. オンライン結合の必要性

令和3年8月現在、本市では印西市新型コロナワクチン集団接種予約システムを使用し、新型コロナウイルスのワクチン接種を進めているところであるが、ワクチン接種の更なる加速化を図るため、松山下公園総合体育館に集団接種会場を増設することを検討している。

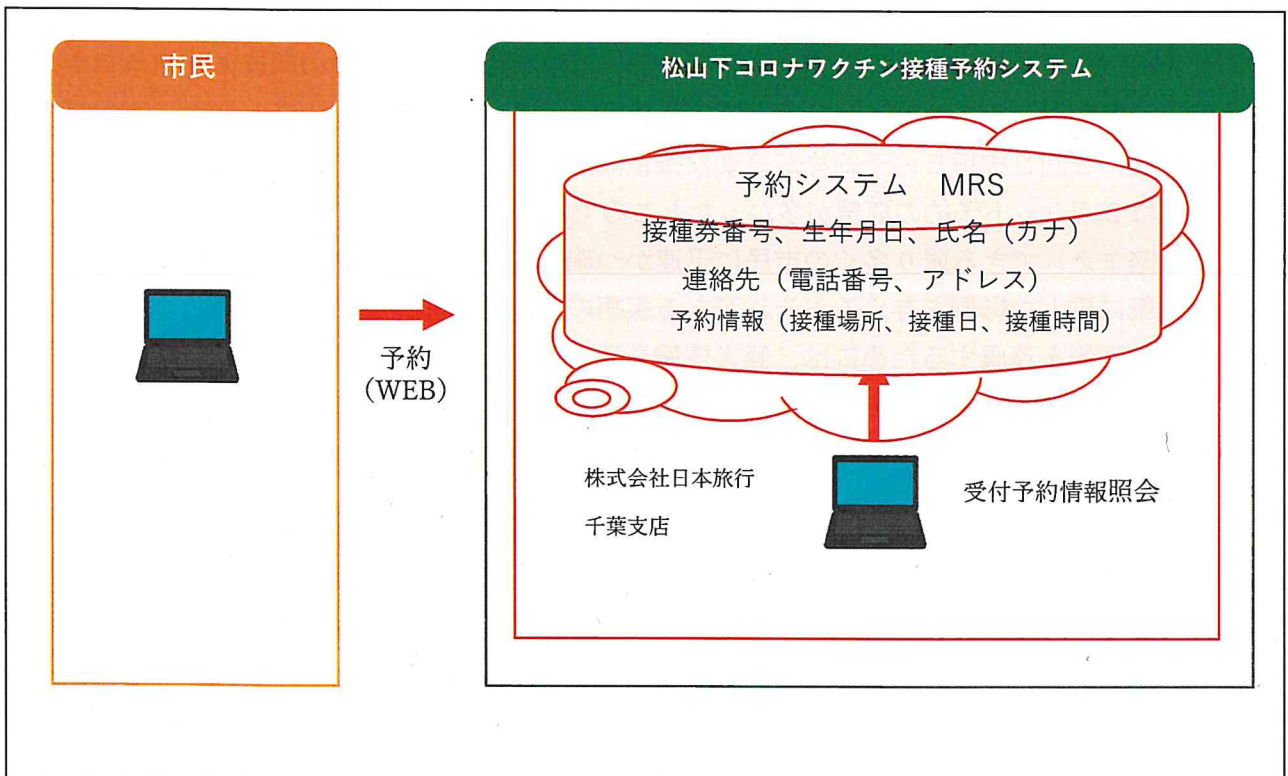
また、新型コロナワクチンは2回接種が必要であり、事前予約制とそれに伴う市民の利便性の向上のためのWEB予約の必要性は変わっていない。しかしながら、現在の印西市新型コロナワクチン集団接種予約システムでは1回目、2回目の接種予約を、それぞれ予約者が自由に選択可能であることから、2回目接種日の予約枠が適切な接種間隔を越えた日時しか空いていない場合があり、市民からは2回セット予約の要望が多かったところである。

以上を踏まえ、できる限り多くの市民に迅速かつ確実にワクチン接種をしていただき、市民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある疾病の蔓延その他の健康被害を防止するというワクチン接種の目的を達成するためには、個人情報をオンライン結合することにより正確性を担保しつつ、WEB予約が可能で、予約の利便性や市民サービスの向上を図ることができ、その上で1回の予約で2回分の予約とすることができる本システムが必要である。

3. システム構成図



4. 個人情報の提供の流れ



5. 提供する個人情報の範囲（内容）及び提供先

個人情報の範囲（内容）	提供先
氏名（カナ）	本人（一部表示）
生年月日	本人
連絡先（電話番号、アドレス）	本人（一部表示）
予約情報	本人

6. 実施機関が講ずる技術的措置

項目		措置内容
不正アクセスの排除に関する項目	個人情報ファイルへの不正なアクセスを排除するため、次のような措置を講ずるものとする。	<p>接種券に記載される接種券番号/生年月日による本人認証が可能であり、本人認証がされない場合はそれ以降の画面に遷移できない。</p> <p>システムに対する不正アクセスおよび許可されていない通信プロトコルを通信回線上にて遮断、検知・通知する機能を備える。</p>
障害の予防及び回復に関する項目	<p>ア 障害時の個人情報ファイルの安全性を確保するため、次のような措置を講ずるものとする。</p> <p>イ 障害が発生した場合、速やかにこれを回復するため、次のような措置を講ずるものとする。</p>	<p>本システムの正常動作を監視するサーバーを設定、運用しており、24時間365日の監視を行っている。</p> <p>システムを格納したサーバーは耐震または免振機能を有し、自家発電設備は空調設備を備えた施設にて管理している。システムは負荷分散装置（ロードバランサーなど）を設置し、人口規模などを勘案したサーバー保存量を確保する。</p> <p>1日1回、本システムの全データをバックアップする。※バックアップデータの保持期間はおよそ10日分（10世代）</p> <p>障害の発生時はあらかじめ取り決めた連絡先に速やかに連絡し、障害が収束するまで適宜情報共有を行う。システム点検などの事前に予見される対応のためにシステムが利用できない時間が見込まれる場合は、その日の一週間前までに通知する。</p>

